

応用マテリアル工学 (MA3e20L1)

担当教員：学科長

対象：第3学年	単位数：2.0	バイオ	環境・基盤	ナノ・機能
		限定	限定	限定

実施時期：A1A2 セメスター 水曜日 4 時限 場所：4 1 号講義室

講義目的
近年のマテリアル技術は日進月歩の発展を遂げつつある。この講義では、マテリアルの工業技術的側面を基礎的に理解させることを目的に、企業や国の他の機関等から、多分野における第一級の方々を講師としてお迎えしている。

講義項目：(H30 年度の例) エヌビディア合同会社：AIディープラーニング最前線と材料開発への応用の可能性 情報通信研究機構：酸化ガリウムエレクトロニクス ～新しい半導体分野の開拓～ 東京大学：金属材料産業を巡る最近の課題と政策展開の方向 フロンティアバイオシステムズ株式会社：技術開発 40 年から学んだこと～質量分析、DNA シーケンサから 1 細胞及び組織解析へ～ 興和株式会社：コントロールドリリースを指向した製剤設計ー現在と今後の展望 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社：革新的な医療機器が開発から現場に届くまで 株式会社神戸製鋼所：社会に貢献する鉄鋼材料～鉄鋼会社のものづくり～ トヨタ自動車株式会社：激変する社会・産業構造と日米欧企業の変革への挑戦 株式会社 KELK：熱電変換とビジネス 株式会社 UACJ：高機能アルミニウム材料の研究開発 株式会社ニューフレアテクノロジー：化合物半導体 過去-現在-未来 JFE スチール株式会社：世界史の中で見た鉄鋼業の歴史と展望 東京大学：マテリアル工学とベンチャー	理解すべき事項 マテリアルの工業技術的側面及び研究開発の動向
--	--

関連する講義
事前履修：マテリアル工学科講義全般
並行履修：マテリアル工学科講義全般
事後履修：マテリアル工学科講義全般

参考書 (テキスト)：特になし
参考書 (演習書)：特になし

講義ノートのリンク先：適宜資料配付

成績評価：出席、レポート

備考